

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-85	小学校	国語科	国語	第3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 305 国語 306	ひろがる言葉 小学国語 三上 ひろがる言葉 小学国語 三下		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法（第二条の第1～第5号）に示された「教育の目標」と、学習指導要領に示された「教科目標」の達成を目指し、以下の方針に基づいて編修しています。

- ・身近な言語活動を通して、幅広い知識と教養を身につけます。
- ・自己の価値を尊重し、創造性を培います。
- ・公共の精神に基づいた、主体的な社会参画を促します。
- ・自然の仕組みを題材にした教材を通して、生命を尊び、自然を大切にする心を育てます。
- ・国際社会の平和と発展に寄与するとともに、我が国の伝統文化を尊重する態度を養います。

楽しく学び、言葉の力がつく教科書

言葉を豊かに学ぶことは、学び手が**主体的に言葉に関わり、言葉の力を協働的に獲得**していく行為です。

主体的に学ぶためには、そこに学ぶ楽しさがあるはずで、楽しみながら、心を育て、世界観を広げられる、**価値ある題材**との出会いを大切にして教材を選びました。

また、言葉を学ぶことは、単に技術を学ぶことだけではありません。自己を主体的に築くための母語を獲得し、協働的に生きていく民主的人格が育まれるためにも、**言葉の学びは必要**なのです。

これからの社会を生きる子どもたちは、さまざまな課題に直面します。多くの情報があふれる現代社会において、**情報とどのようにつきあっていくか、社会をいかに持続可能なものとしていくか、多様な人々が自分らしく生きる権利をどのように守るのか**。学び手が学ぶ楽しさを感じながら、言葉の力を獲得していくことで、これらの課題を解決する力を自ら獲得できるよう、この教科書を編修しました。



豊かな言葉の学びに向けた編修の特色

◇当該学年の学びのストーリーを大事にした教材配列

教科書を使って1年間の学習をしていくことは、学習者にとって、1年間の「言葉の学び」という物語の中を生きることです。それぞれの物語どうしが、学校という、**他者との協働の場**でいかされるように、それぞれの単元が相互に関わるように並べることで、**学習の流れや必然性を大切**にして、各領域が自然に結びつ

くようにこころがけました。

◇課題の設定、解決・探究ができる学習過程の提示と、効果的な学びを生むための重点過程の明示

各単元や教材の冒頭で学習意欲の喚起を行い、学習のてびきは、深い学びへと導くことを意識して構成しています。単元を通じて、学び手が、より能動的・探究的な学びができるような活動の流れをつくりました。

また、話す・聞く、書く教材においては、特に重点としたい学習過程を明示し、その単元の学びにおいてつきたい力がわかるようにしました。これにより学習指導の効率化が図れ、学習者にとっての効果的な学びを実現します。

◇思考力、判断力、表現力等と、それを支える知識及び技能の有機的な結合

領域の学習内容を豊かに学ぶための言語活動を、より活性化するための知識・技能を、単元間の小教材や付録で示しました。また、思考を整理したり、まとめたり、可視化したりするためのふせんやカード、ノートの使い方など、学習のツールを多く例示しました。

◇豊かな言葉の基礎となる読書教材、語彙教材の拡充

豊かな言葉の学習は、さまざまな本を読み、多様な言葉にふれることで広がります。各単元の学習から読書体験へとつながるよう、幅広いジャンルを対象として、紹介図書を充実させました。

また、日常の言語生活や他教科の学習での使用に資するよう、語彙を豊かにするための工夫も施しています。

教材の選定について

◇日常の学習に活用

- ⇒ 『「発見ノート」を作ろう』(三上)
- 『漢字学習ノート』(三上)

◇主体的な調べ学習、メディアリテラシー(ICT)

- ⇒ 『本で調べよう』(三上)
- 『よく見て、話し合おう』(三上)
- 『ローマ字とコンピューター』(三上)

◇地域に根ざす

- ⇒ 『町の行事について発表しよう』(三下)
- 『川をさかのぼる知恵』(三下)

◇生き方を問う(人権)

- ⇒ 『わすれられないおくりもの』(三上)
- 『おにたのぼうし』(三下)

◇持続可能な開発のための教育(ESD)

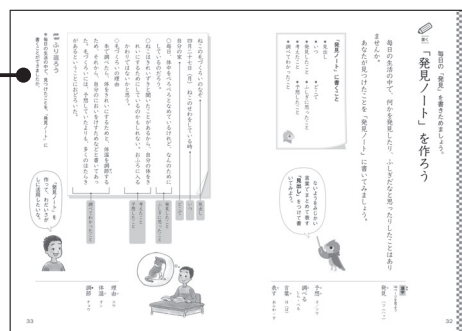
- ⇒ 『めだか』(三上)
- 『絵文字で表そう』(三下)

◇言語文化

- ⇒ 『きせつの言葉を集めよう』(三上)
- 『十二支と月のよび名』(三下)

◇複数領域融合単元

- ⇒ 「しりょうを集めて活用しよう」(三上)
- 「つたえたいことをはっきりさせて書こう」(三上)
- 「絵文字の特長をとらえよう」(三下)



2. 教育基本法との対照表

教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
言語・情報	<p>■三上 国語辞典の引き方 本で調べよう</p> <p>■三下 世界の人につたわるように</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●『国語辞典の引き方』『本で調べよう』では、調べたい目的に応じて、辞書や図鑑を使って調べる方法を知る。調べ方を知って、自ら調べることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う。〈第1号〉 ●『世界の人につたわるように』は、どのような絵文字が使われているか調べて話し合う学習である。東京オリンピックで使用される絵文字にも関連させ、情報を絵で伝える文字に国際性があることを理解させ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てる。〈第5号〉 	<p>上 P34-37, P68-71</p> <p>下 P6-7</p>
	<p>■三上 国語辞典の引き方／漢字の広場① 漢字学習ノート／俳句に親しむ／本で調べよう／クラスの「生き物ブック」を作ろう／漢字の広場② 漢字の音と訓／させつの言葉を集めよう／漢字の広場③ 送りがな／ローマ字／ローマ字とコンピューター／3年生で読みたい本／言葉の木／言葉のまとめ／いろいろなこと／よこ書きの手紙の書き方／漢字を学ぼう／二下までに学んだ漢字／「ここが大事」のまとめ／学ぶときにつかう言葉</p> <p>■三下 気持ちをつたえる話し方・聞き方／漢字の広場④ へんとつくり／モチモチの木／「おすすめ図書カード」を作ろう／こそあど言葉／ことわざ・慣用句／文の組み立て／漢字の広場⑤ 漢字の組み立て／十二支と月のよび名／漢字の広場⑥ 二つの漢字の組み合わせ／3年生で読みたい本／言葉の木 言葉のまとめ／電話のかけ方／国語辞典で楽しもう／漢字を学ぼう／三上までに学んだ漢字／「ここが大事」のまとめ／学ぶときに使う言葉／ローマ字表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●『俳句に親しむ』では、季節ごとに代表的な俳句を掲げ、解説と美しい風景写真を添えて音数律に親しませる。自分の好きな俳句を書き写し、選んだ理由を書く学習につなげている。〈第5号〉 ●『本で調べよう』は、知りたいことを図書館にある図鑑を使って調べることができるよう、調べ方の基礎をわかりやすく示している。幅広い知識と教養を身につけることができる。〈第1号〉次の教材に『クラスの「生き物ブック」を作ろう』を置くことで、自然への関心を軸とする学習を連続して行うことができる。〈第4号〉 ●『させつの言葉を集めよう』『十二支と月のよび名』では、昔から使われている季節に関する語彙や年中行事への関心を育てる。〈第5号〉 ●『ローマ字』『ローマ字とコンピューター』では、ローマ字表記が社会生活の中で使われている写真を提示することで、国際社会に対応した必要な文字であることと理解と、書き方の習得を促している。〈第5号〉 ●『モチモチの木』は、我が国の伝統的な言語文化に親しませる民話的な物語であり、我が国の伝統と文化を育んできた国と郷土を愛する態度を養う。〈第5号〉 ●『ことわざ・慣用句』は、言葉への認識を深め、幅広い知識、概念的な思考を身につけることができる。〈第1号〉また伝統と文化を尊重する態度を養う。〈第5号〉 ●『3年生で読みたい本』①と③では、神話・友情・家族・冒険・詩・戦争・科学など多岐にわたる分野の図書を紹介し、幅広い知識と教養を身につける手がかりにしている。〈第1号〉 ●『3年生で読みたい本』②は、『わすれられないおくりもの』で生と死を扱ったことと関連して、『命の重み』とテーマを掲げ、生命を尊ぶ図書を多く紹介している。〈第4号〉 ●『3年生で読みたい本』④は、ねぶた、ながさきくんち、だんじりまつり、天神祭、祇園祭など日本各地の祭りを題材にした絵本も多く取り上げ、我が国の伝統と文化を尊重する態度を育てることができる。〈第5号〉 	<p>上 P34-37, P46-48, P62-67, P68-71, P72-77, P78-80, P100-101, P112-114, P132-135, P136-137, P138-160</p> <p>下 P26-29, P30-32, P34-53, P54-57, P58-59, P62-67, P78-79, P80-82, P94-95, P102-104, P136-160</p>
思考・判断・表現	<p>■三上 「じこしょうかいビンゴゲーム」をしよう たからものをしようかいしよう 聞いてさがそう よく見て、話し合おう インタビューをしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「話すこと・聞くこと」の各教材は、社会形成に参画する基盤となるコミュニケーション力を養う。上巻冒頭に置く『「じこしょうかいビンゴゲーム」をしよう』は、言語活動を通して自他を敬愛する態度を形成する。〈第3号〉 ●「たからものをしようかいしよう」では、スピーチを学習する。例文に取り上げた子どもの宝物は、祖母から教わった草花遊びである。遊びが世代を超えて伝えられることを取り上げている。〈第5号〉また、自然に親しむ例文を通して、自然を大切にすることを育てる。〈第4号〉 	<p>上 P8-9, P38-41, P42-45, P102-103, P109</p>

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
思考・判断・表現	話す・聞く ■三下 世界の人につたわるように 絵文字で表そう 町の行事について発表しよう	<ul style="list-style-type: none"> ●『絵文字で表そう』は、『世界の人につたわるように』と『くらしと絵文字』の学習に続いて、学校や町の施設を表す絵文字を学級での話し合いを通じて創作する。絵文字を通して社会の発展に寄与する態度を養う。(第3号) ●『町の行事について発表しよう』は、地域のできごとや催しに材を取り、子どもたちが、自分の住む地域の行事に目を向け、単なる娯楽参加者でなく、地域をよくする形成者としての視点を取り入れる設定をした。関連して、巻末の読書を勧める『3年生で読みたい本』④では、テーマに「楽しいお祭り・行事」を掲げ、公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画する態度を養う。(第3号) 	下 P6-7, P20-25, P72-77
	書く ■三上 「発見ノート」を作ろう クラスの「生き物ブック」を作ろう 取材して知らせよう 手紙を書いてつたえよう ■三下 ほっとしたことを詩に書こう 強く心にのこっていることを	<ul style="list-style-type: none"> ●『取材して知らせよう』『インタビューをしよう』『手紙を書いてつたえよう』を組み合わせて、スーパーマーケットで働く人にインタビューし、わかったことを報告文にまとめ、最後に礼状を出すという、書くこと・話すこと・聞くことの総合的な調べ学習を設定した。『取材して知らせよう』では、知りたいこと、実際に見たこと、直接聞いた話、自分が思ったことを取材メモに書き、メモを材料にして報告文を書く。『インタビューをしよう』では、事前の準備から、インタビュー時の役割分担など、必要な注意事項がまとめられている。働く人に直接尋ね、話を聞くことを通じて、勤労を重んずる態度を養う。(第2号) ●『ほっとしたことを詩に書こう』では、詩を創作するにあたり、自然への驚きや感動、季節感が重要であることを示している。(第4号) ●『強く心にのこっていることを』は、思い出に残っていることを、中心場面を鮮やかに書けるように組み立てを考えて文章にする。例にペットの亀が動かないことに驚き、原因がわかってほっとしたという文章を取り上げ、生命の尊重を感じ取ることができる。(第4号) 	上 P32-33, P72-77, P104-108, P110-111 下 P60-61, P96-101
	読む ■三上 かえるのびよん 白い花びら うめぼしのはたらき めだか 本で調べよう のらねこ わすれられないおくりもの ■三下 くらしと絵文字 モチモチの木 「おすすめ図書カード」を作ろう 夕日がせなかをおしてくる いちばんぼし 川をさかのぼる知恵 おにたのぼうし 葉っぱ	<ul style="list-style-type: none"> ●文学作品は、登場人物と一体になって、その行動や感情を追体験し、それによって得た感動が、豊かな情操や道徳心を育てる。こうした体験を可能にする作品として、『白い花びら』『のらねこ』『わすれられないおくりもの』『モチモチの木』『おにたのぼうし』を選定した。(第1号) ●『白い花びら』は、冒険心で野に出た男の子が、「春」の季節の変化に出会うファンタジーである。自然との出会いの驚きや感動が素直に伝わる表現から、自然環境への思いを深められる。(第4号) ●『のらねこ』は、動物とのふれあいを描いた作品で、生命を尊ぶ態度を養うことができる。(第4号) ●『わすれられないおくりもの』は、主人公の死と、その残したものが、周りの登場人物の思い出とともに鮮明になり、心の支柱となって、発展に寄与するものと描かれている。(第3号) ●『モチモチの木』は、臆病な主人公が、腹痛に苦しむ祖父を助けようと夜中に一人で山道を行って医者と呼ぶ。慈愛をもって育ててくれた祖父の危機に際して勇気を発揮した主人公に対してモチモチの木が月明かりに美しく輝く。『おにたのぼうし』は、善意に基づいて行動する鬼の子どもと人間の通じ合えない心を描く。どちらも深く味わうに適した作品である。(第2号) ●説明的な文章として、『うめぼしのはたらき』『めだか』『くらしと絵文字』『川をさかのぼる知恵』を取り上げた。説明的な文章を読解することにより、論理的な思考力を養い、知識・教養を身につける。(第1号) ●『うめぼしのはたらき』は、昔も今も和食に欠かせない梅干しを題材に、古来からの日本人の知恵に学ぶとともに、意見とその根拠を読み取る力を育てる。(第5号) ●『めだか』は、絶滅危惧種とされるめだかの生き延びる仕組みを述べた文章である。自然の絶妙な仕組みを読むとともに、それらが絶滅する恐れのある環境に対して意識化を図るとともに、知識・教養、真理の追求への読む楽しみを味わうことができる。(第1号) また自然を大切に育てる態度を育てることができる。(第4号) ●『くらしと絵文字』は、絵文字が日常の暮らしに生かされている実態を説明した教材である。社会的・記号的な視点から、論理的な思考の方法を学ぶことができる。絵文字は言葉や年齢、時代の違いを越えて情報を共有することができ、暮らしに役立つ文字であることを学習することが、公共の精神に基づき、社会の発展に寄与する態度を養う。(第3号) ●『川をさかのぼる知恵』は、船がどうやって川をさかのぼるか、見沼代用水の仕組みを分析して、先人の知恵に学ぶ。(第1号) ●詩は豊かな情操を養うよう、多様な教材の選定を行った。『かえるのびよん』は、言葉のリズムを楽しんで音読することができ、言葉が日常を飛び越えて奇想天外な世界を作る詩のおもしろさを味わうことができる。(第1号) ●『夕日がせなかをおしてくる』『いちばんぼし』は、夕景を題材とする詩を二編並べた。友達と声を出し合い、聞き合うことで、豊かな情操を育てることができる。(第5号) 	上 P10-12, P14-31, P50-51, P52-61, P68-71, P82-99, P116-131 下 P8-19, P34-53, P54-57, P68-69, P70-71, P84-93, P106-123, P126-135

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された義務教育の目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

ユニバーサルデザインへの配慮

学びに向かう力を大切に、できるだけ図や表、写真や絵を用いて、学習内容が端的につかめるように教材の構成や紙面をデザインしています。

◇特別支援

特別支援が必要な学習者への配慮として、全体を通しての統一感や一体感、読みやすさ、わかりやすさを意識したレイアウト、安心感と安定感のある色づかい、トーンバランスを心がけ、フォントには、ユニバーサルデザインに配慮した、新しい教科書体を使用しています。

◇カラーユニバーサル

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

◇多様性への理解・パラリンアート

社会の多様性にふれ、さまざまな人々と共存・共生しているという実感を得られるような教材を選ぶとともに、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

◇地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

◇分冊による軽量化

子どもの身体の発達状況を考慮して、全学年を分冊とし、1冊あたりの重量が軽い教科書にしています。分冊としたことにより、全体のページを増やし、単元とびらやてびき、付録を充実させています。

他教科との連携

◇教科間の連携

中・高学年では、他教科と同じテーマについて、国語科としての見方・考え方を働かせることによって、論理の展開や思考の組み立てなど、学びの基礎を育む構成にしました。

*学習する内容の連携

同じ教材や題材、学習内容を、他教科と連携して扱えるような工夫をしています。

- ・見沼通船堀（＝社会） ・スーパーマーケットの見学報告（＝社会）
- ・生き物ブックの作成（＝理科）

*教科を横断したテーマの設定

学習指導要領で重視されているテーマを、教科横断的に扱えるようにしています。

*育てたい資質・能力の連携

各教科で扱える以下のような資質・能力を、教科書の中で育めるように意識しました。

- ①言葉で表す力（言語的リテラシー）
- ②自ら考える力（論理的思考力・問題発見解決能力・メタ認知力）
- ③共に学ぶ力（人間関係形成力）

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-85	小学校	国語科	国語	第3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 305 国語 306	ひろがる言葉 ひろがる言葉	小学国語 小学国語	三上 三下

1. 編修上特に意を用いた点や特色

言葉による「見方・考え方」を豊かに育み、意味ある言語活動を通して、言葉の力としての「資質・能力」を身につけていくため、学習指導要領の各内容を最大限に生かす単元、およびその学習過程を設定し、次のような、学び手や教師が手に取って使いたくなるような教科書となることを目指しました。

- ・何をどのように学び、何ができるようになったのかがわかる教科書
- ・主体的・対話的な学びを促す言語活動を通して、深い学びを実現する教科書
- ・言葉を学ぶことの楽しさを実感できる教科書
- ・感動する教材と出会い、言葉に対する感性を磨くことができる教科書
- ・現代社会の今日的課題と同期する教科書
- ・優れた言語文化にふれて、日本人としての豊かな心を育む教科書

単元構成

・教科書全体を、形式を整えることにとらわれることなく、**学習の目標と活動が最大限にいきるような構成**にしました。

・各教材の特性を生かすため、**単独の教材で単元**にしたり、**複数教材を組み合わせて領域融合的な単元**としたりして、多様な単元の構成としました。

⇒『白い花びら』(三上)・『おにたのぼうし』(三下)

⇒『しりょうを集めて活用しよう』(三上)

『絵文字の特長をとらえよう』(三下)

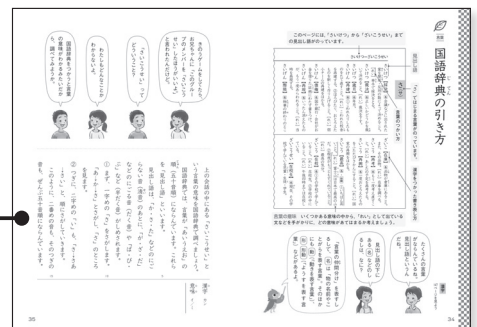
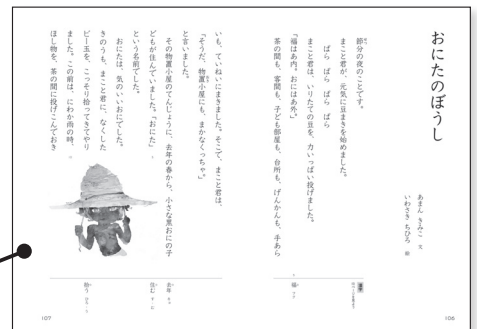
・学習の流れを踏まえ、**知識・技能の向上に活用**できるよう、単元と単元の間に小単元的な教材を配置しました。

⇒『国語辞典の引き方』(三上)

『「おすすめ図書カード」を作ろう』(三下)

・各学校での**カリキュラム・マネジメント**に資するよう、柔軟に扱える教材を配しました。

⇒『「発見ノート」を作ろう』(三上)・『漢字学習ノート』(三上)

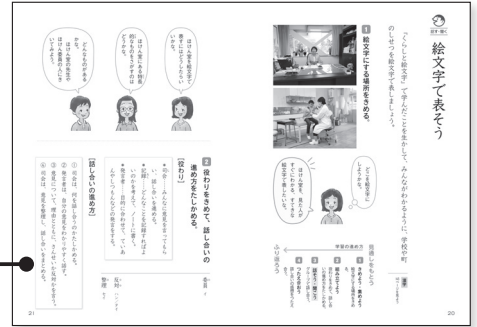


単元内容

- ・学習過程を明確にした教材を配置するとともに、**重点的に扱う学習の過程を設定して**、知識・技能を効率よく学べるようにしました。その一方で、学んだ知識や技能が、**生活のさまざまな場面で生きて働く力**となるための配慮も行っています。

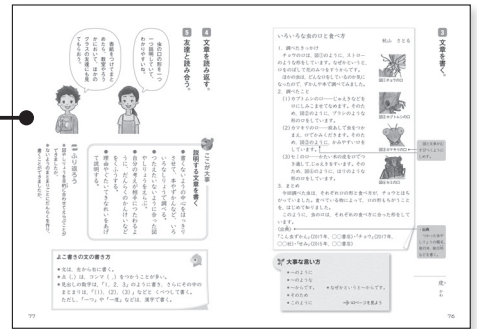
⇒『くらしと絵文字（学習のてびき）』（三下）

『絵文字で表そう』（三下）



- ・多様で活発な言語活動で、「言葉の力」を高めることができるように配慮しました。

⇒『クラスの「生き物ブック」を作ろう』（三上）



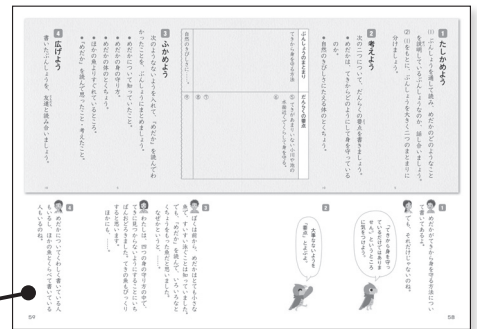
- ・確実に身につけたい「言葉の力」については、各教材の「**ここが大事**」に端的にまとめています。

主体的・対話的で深い学びのために

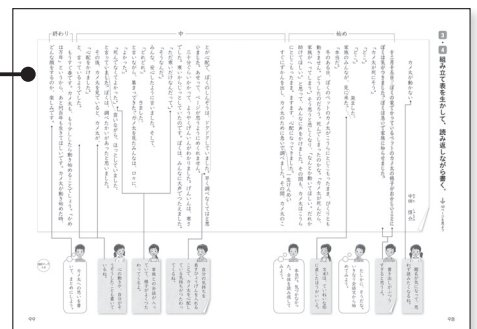
- ・学習者が主体的に学習に取り組み、また自学もできるように、**学習の課題をわかりやすく可視化**する工夫を取り入れました。

- ・「学習のてびき」では、身につけたい言葉の力に対して**適切な言語活動**を設定するとともに、言語活動そのものが、**自ら課題を見つけ、それを解決する過程**となり、深い学びに結びつくことを意識して構成しています。

⇒『めだか（学習のてびき）』（三上）



- ・親しみやすいキャラクター等を用いて、**学習者の思考の深まりを支援し、主体的・対話的な学びへの道筋**をつけています。

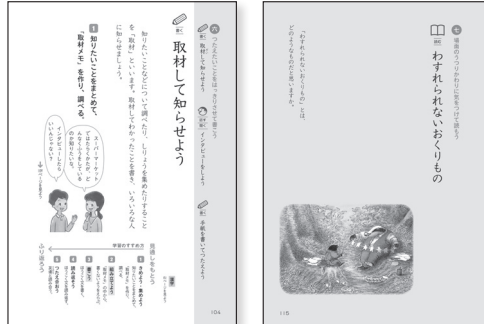


見通しをもったり、振り返ったりするために

・教科書巻頭の「三年生で学ぶこと」と学年末の「国語の学習 これまでこれから」により、1年間の学びの見通しと振り返りができるようにしています。



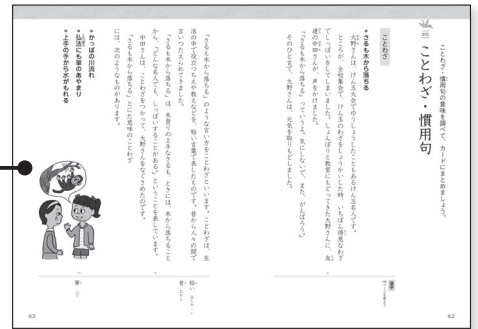
・「単元とびら」により、学習への意欲を喚起し、その単元に積極的に取り組もうとする姿勢を促します。



言語文化を継承し、担い手になっていくために

・日常生活の中で、言語文化を意識したり、見直したりできるように配慮しました。

- ⇒『きせつの言葉を集めよう』（三上）
- 『ことわざ・慣用句』（三下）
- 『十二支と月のよび名』（三下）



・言語文化をただ受け取るだけでなく、その担い手となる自覚をもてるように活動的教材を配しました。

- ⇒『はっとしたことを詩に書こう』（三下）

語彙を増やし、情報を適切に扱う

・語彙を質、量ともに充実させる教材を拡充しました。また、情報の扱い方に関する教材を配置しています。

- ⇒『言葉の木』（三上下）・『言葉のまとめ』（三上下）

他教科との関連、基礎教科としての位置づけ

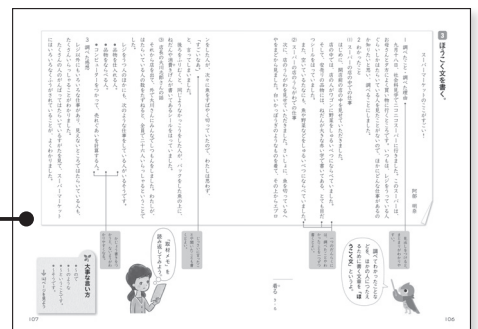
・国語は言葉の働きについて学ぶ教科であるということを意識して、全ての教科の基礎となる言葉の知識・技能を明確に示しました。

・他教科の学習との関連にも配慮しています。

- ⇒『取材して知らせよう』（三上）

・調べ学習など、他教科への学習の広がりを意図した教材も配置しました。

- ⇒『本で調べよう』（三上）



2. 対照表

教材名	学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間
	知識・技能	思考・判断・表現		
三上				
ことばに親しもう 「じこしょうかいビンゴゲーム」をしよう かえるのびよん	(1)イ (1)フ	A(1)ア A(2)イ C(1)イ C(2)イ	P8-9 P10-12	2 (話聞2) 2
一 ばめんのつながりに気をつけて読もう 白い花びら	(1)カ (3)オ	B(1)イ, オ B(2)ウ C(1)イ, エ C(2)イ	P14-31	9 (書<2)
「発見ノート」を作ろう	(1)ア	B(1)ア B(2)ア	P32-33	3 (書<3)
国語辞典の引き方	(2)イ		P34-37	2
二 すじみちを立てて発表しよう たからものをしょうかいしよう	(2)ア	A(1)イ, ウ A(2)ア	P38-41	6 (話聞6)
聞いてさがそう		A(1)エ A(2)イ	P42-45	2 (話聞2)
漢字の広場 ① 漢字学習ノート	(1)エ		P46-47	2
二年生で学んだ漢字 ①	(1)エ	B(1)ウ B(2)ウ	P48	2 (書<2)
三 だんらくの要点をつかもう うめぼしのはたらき めだか	(1)カ (2)ア (1)カ	C(1)ア, ウ C(2)ア B(1)イ, ウ B(2)ア C(1)ア, ウ C(2)ア, ウ	P50-51 P52-61	2 10 (書<2)
俳句に親しむ	(3)ア	B(1)ウ B(2)ウ	P62-67	4 (書<1)
四 しりょうを集めて活用しよう 本で調べよう クラスの「生き物ブック」を作ろう	(2)イ (1)カ	C(1)ウ C(2)ア, ウ B(1)ア, イ B(2)ア	P68-71 P72-77	3 10 (書<10)
漢字の広場 ② 漢字の音と訓	(1)エ		P78-79	2
二年生で学んだ漢字 ②	(1)エ	B(1)ア B(2)ウ	P80	2 (書<2)
五 登場人物のせいかくを考えながら読もう のらねこ	(1)オ	B(1)イ, ウ B(2)ウ C(1)イ, エ, カ C(2)イ	P82-99	9 (書<2)
きせつの言葉を集めよう	(3)イ	B(1)ア B(2)ア	P100-101	1 (書<1)
よく見て、話し合おう	(1)ア	A(1)オ A(2)ウ	P102-103	1 (話聞1)
六 つたえたいことをはっきりさせて書こう 取材して知らせよう インタビューをしよう 手紙を書いてつたえよう	(1)キ (2)ア (1)キ	A(1)エ A(2)イ B(1)イ, ウ B(2)ア B(1)ウ B(2)イ	P104-109 P110-111	10 (話聞2, 書<8) 6 (書<6)
漢字の広場 ③ 送りがな	(1)ウ		P112-113	2
二年生で学んだ漢字 ③	(1)エ	B(1)ウ B(2)ウ	P114	2 (書<2)
七 場面のうつりかわりに気をつけて読もう わすれられないおくりもの	(1)カ	B(1)イ, ウ B(2)ア C(1)エ, オ C(2)イ	P116-131	9 (書<2)
ローマ字	(1)ウ		P132-135	4
ローマ字とコンピューター	(1)ウ		P136-137	1
三下				
一 絵文字の特長をとらえよう 世界の人につたわるように くらしと絵文字 絵文字で表そう	(1)ア (1)カ (2)ア (2)イ	A(1)ア A(2)ウ B(1)ア, ウ B(2)ア C(1)ウ, オ C(2)ア, ウ A(1)オ A(2)ウ	P6-7 P8-19 P20-25	2 (話聞2) 7 (書<2) 7 (話聞7)
気持ちをつたえる話し方・聞き方	(1)ア	A(1)イ, A(2)ウ	P26-29	4 (話聞2)

漢字の広場 ④ へんとつくり	(3)ウ		P30-31	2
二年生で学んだ漢字 ④	(1)エ	B(1)ア B(2)ウ	P32	2 (書<2)
二 登場人物の気持ちをそうぞうしながら読もう モチモチの木	(1)オ	B(1)ア, ウ B(2)ウ C(1)エ, オ C(2)イ	P34-53	8 (書<2)
「おすすめ図書カード」を作ろう	(1)イ (3)オ	B(1)ウ B(2)ア C(1)オ, カ C(2)ア, ウ	P54-57	6 (書<3)
こそあど言葉	(1)カ		P58-59	1
はっとしたことを詩に書こう	(1)ア, オ	B(1)エ, オ B(2)ウ	P60-61	5 (書<5)
ことわざ・慣用句	(3)イ	B(1)ウ B(2)ア	P62-67	4 (書<1)
◆詩を楽しもう 夕日がせなかをおしてくる いちばんぼし	(1)ク	C(1)エ, オ C(2)イ	P68-69 P70-71	2
三 調べて発表しよう 町の行事について発表しよう	(1)イ (2)イ	A(1)ウ A(2)イ	P72-77	7 (話聞7)
文の組み立て	(1)カ		P78-79	2
漢字の広場 ⑤ 漢字の組み立て	(3)ウ		P80-81	2
二年生で学んだ漢字 ⑤	(1)エ	B(1)ア B(2)ウ	P82	2 (書<2)
四 図や写真と文章を、むすびつけて読もう 川をさかのぼる知恵	(1)カ (2)ア	B(1)ウ B(2)ウ C(1)オ, カ C(2)ア	P84-93	7 (書<2)
十二支と月のよび名	(3)イ		P94-95	1
五 つたえたいことの中心を明らかにして書こう 強く心にのこっていることを	(1)オ (2)ア	B(1)ウ, エ, オ B(2)ア	P96-101	8 (書<8)
漢字の広場 ⑥ 二つの漢字の組み合わせ	(1)エ		P102-103	2
二年生で学んだ漢字 ⑥	(1)エ	B(1)エ B(2)ウ	P104	2 (書<2)
六 登場人物の気持ちのうつりかわりを読もう おにたのぼうし	(1)オ	B(1)イ, ウ B(2)イ C(1)オ, カ C(2)イ	P106-123	10 (書<2)
国語の学習 これまで これから	(1)イ	A(1)ア A(2)イ B(1)ウ B (2)ア	P124-125	2 (話聞1, 書<1)